

独立行政法人自動車技術総合機構
なにわ事務所 登録確認調査員
【事務官】 令和2年4月入局

略歴

令和2年4月 兵庫陸運部 監査部門
令和3年4月 近畿運輸局 観光部 観光地域振興課
令和5年4月 独立行政法人自動車技術総合機構
なにわ事務所 登録確認調査員



近畿運輸局に入局したきっかけ・理由は何ですか？

国家公務員の筆記試験後、官庁訪問の時期に様々な官庁を調べていく中で、運輸局という存在を知りました。恥ずかしながらそれまでは「運輸局」という組織を知りもせず意識もしていなかったのですが、説明会などに参加して業務に関する話を聞く中で、交通から輸送、船舶や観光にまで携わる幅広さに興味を持ちました。
また実際に官庁訪問で訪れた際に対応してくださった方々の人柄がよく、雰囲気が良さそうだと感じたことが志望の決め手となりました。

現在はどんな業務に携わっていますか。

自動車の登録手続きに関する窓口業務を行っています。売買や譲渡による所有者変更や、引っ越しに伴う住所変更、使わなくなった・解体した車の抹消等の申請について、来庁者へ手続きの案内をし、必要書類を確認して受付し、車検証の発行・更新を行います。
また、自動車の登録状況について、官公庁からの問い合わせがあった際の調査も担当しています。

これまで携わった中で印象に残っている仕事を教えてください。

以前の観光部署でのものになりますが、観光庁の地方機関として、地域の観光まちづくりに対する相談窓口として、情報発信不足・知名度の低さや地域の人手不足、こういった取組みを進めていきたいが何から始めれば良いかわからない、逆に地域の何を売りにしていけば良いかわからない、というように様々な課題を抱えている地域の方々からのご相談を受けることができました。
それに対して観光庁で実施している補助事業の紹介をしたり、実際に足を運んで現地を視察し、意見交換を行ったりして、地域観光に直接携わる方々の「自分たちの地域をより良くしたい」「地域の良さをもっと知ってもらいたい」という熱を間近に感じながら、国と地域行政をつなぐ立場として何ができるのか、ということ日々考えていました。そのような相談を受けて関わった地域の取組みが新聞や雑誌、テレビなどで紹介されているのを目にしたり、また直接「このような取組みを始めました」というようなお話をいただいたりした際に、地域の観光を担う人々の力に少しでもなれたのかもしれない、とやりがいを感じました。

近畿運輸局の魅力って何だと思いますか？

一つは先述のとおり、業務の幅広さにあると思います。これまでの部署で運送事業者の監査業務、近畿管内の地域観光業務、自動車の登録業務を経験してきましたが、どれも触れる書類、日々対応する相手、考えるべきことなどが全く異なり、異動の度に新鮮な気持ちになります。

そのために毎度覚えることも多くはなりますが、様々な業務に興味を持てる方・新しい視点を広げることを楽しいと思える方にはおすすめできる職場かと思います。

もう一つは、先に挙げたどの業務も、日常生活に密接に関わるものだという点です。自分の携わる業務が、巡り巡って自分の暮らしにつながっているのだと感じることも多く、やりがいにつながります。

最後に、国家公務員を目指す受験生へ熱いメッセージをお願いします。

もしかすると同じようなことを何度も言われているかもしれませんが、官庁訪問の時期は特に、いろんな官庁の説明会に足を運んでみることをおすすめします。実際にその官庁を訪れて、現場で働く方の話を聞いてみることで、あまり自分では興味がないと思っていた官庁の魅力を知ることができたり、パンフレットなどの書面からは漠然としか捉えられなかった業務内容を把握することができたりして、「自分がこれから働く職場」のイメージをより明確に感じるきっかけになるかと思います。その中で運輸局に興味を持っていただき、いつか共に働くことができればうれしく思います。

